



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年1月31日

上場会社名 株式会社ベルーナ 上場取引所 東
 コード番号 9997 URL <http://www.belluna.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安野 清
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 松田 智博 (TEL) 048-771-7753
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	133,555	9.5	8,460	△9.5	11,308	△1.9	7,177	△13.7
30年3月期第3四半期	121,997	11.3	9,352	21.3	11,530	22.4	8,318	31.6

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 5,149百万円(△41.9%) 30年3月期第3四半期 8,869百万円(37.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	73.81	—
30年3月期第3四半期	85.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	214,682	96,866	44.8
30年3月期	195,946	93,058	47.1

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 96,182百万円 30年3月期 92,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	6.25	—	6.25	12.50
31年3月期	—	7.50	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	11.3	15,000	15.3	15,500	17.0	10,500	8.6	107.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社 (社名) さが美グループホールディングス (株) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	31年3月期3Q	97,244,472株	30年3月期	97,236,456株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	934株	30年3月期	740株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	31年3月期3Q	97,239,368株	30年3月期3Q	97,236,101株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益と良好な雇用・所得環境を背景に、緩やかな回復基調が持続しております。一方で、景気回復と人口減少の両面から、労働需給はひっ迫した状況が続くことが見込まれるとともに、米中貿易摩擦の長期化や、それに伴う中国経済の減速を背景に、外需の牽引力が低下するなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。通信販売業界におきましては、電子商取引（EC）の急成長により市場の拡大は続いているものの、消費者のデフレマインドは依然として根強いうえに、配送コストの上昇や自然災害の頻発など、厳しい状況が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループは引き続き主力4事業（総合通販事業・専門通販事業・店舗販売事業・プロパティ事業）の強化に取り組んで参りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は133,555百万円（前年同期比9.5%増）となり、営業利益はDMや商品の配送料値上げや、ホテル開業に向けた費用の増加などにより8,460百万円（同9.5%減）となりました。また、為替関連損益が大きくプラスとなり、経常利益は11,308百万円（同1.9%減）、前期は固定資産売却益があったことなどから、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,177百万円（同13.7%減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

〔総合通販事業〕

配送料値上げなどの影響により、売上高は61,196百万円（同0.3%減）となり、セグメント利益は3,362百万円（同11.8%減）となりました。

〔専門通販事業〕

関ベストサンクスの事業縮小や配送料値上げなどの影響があったものの、各事業堅調に推移し、売上高は36,294百万円（同4.5%増）となり、セグメント利益は2,375百万円（同44.6%増）となりました。

〔店舗販売事業〕

店舗事業では、天候不順などの影響により売上、営業利益ともに苦戦しました。一方で、さが美グループホールディングス㈱が新たに連結グループに加わったことにより、売上高は19,260百万円（同76.5%増）となり、セグメント利益は483百万円（同45.9%減）となりました。

〔ソリューション事業〕

大口クライアントの取引縮小で封入・同送サービスが苦戦したことにより、売上高は4,375百万円（同3.0%減）、セグメント利益は1,596百万円（同12.0%減）となりました。

〔ファイナンス事業〕

国内消費者金融事業の貸付金残高を伸ばしたことにより、売上高は2,839百万円（同10.3%増）、セグメント利益は1,302百万円（同6.3%増）となりました。

〔プロパティ事業〕

ホテル事業の売上増加が貢献し、売上高は6,489百万円（同33.3%増）となりました。また、セグメント利益は、新規ホテル開業に向けた費用の増加などにより530百万円（同24.2%減）となりました。

〔その他の事業〕

卸売事業などで売上を伸ばし、売上高は3,993百万円（同7.6%増）となりました。一方で費用が先行して発生する衣裳レンタル事業の影響などにより、セグメント損失は659百万円（前年同期は534百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比11,687百万円増加し、101,676百万円となりました。これは主に現金及び預金が2,778百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が3,705百万円、営業貸付金が2,039百万円、商品及び製品が4,961百万円、その他の流動資産が3,284百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比7,048百万円増加し、113,005百万円となりました。これは主に建設仮勘定が4,493百万円、投資有価証券が2,135百万円減少した一方で、建物及び構築物が5,816百万円、土地が4,575百万円、その他投資が2,433百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比18,736百万円増加し、214,682百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比17,735百万円増加し、60,067百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が5,788百万円、短期借入金が5,750百万円、未払費用が1,989百万円、その他負債が4,055百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比2,808百万円減少し、57,748百万円となりました。これは主に長期借入金が2,383百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比14,927百万円増加し、117,815百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比3,808百万円増加し、96,866百万円となりました。この結果、自己資本比率は44.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期の業績予想につきましては、平成30年5月11日の公表から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,747	19,969
受取手形及び売掛金	10,009	13,714
営業貸付金	20,814	22,854
有価証券	424	845
商品及び製品	17,975	22,937
原材料及び貯蔵品	1,252	1,332
販売用不動産	3,871	3,426
仕掛販売用不動産	5,447	5,878
その他	7,977	11,261
貸倒引当金	△530	△543
流動資産合計	89,989	101,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,126	28,942
機械装置及び運搬具（純額）	723	751
工具、器具及び備品（純額）	359	1,337
土地	38,496	43,072
リース資産（純額）	278	217
建設仮勘定	12,565	8,071
有形固定資産合計	75,549	82,394
無形固定資産		
のれん	2,693	2,435
リース資産	896	655
その他	8,146	7,916
無形固定資産合計	11,737	11,007
投資その他の資産		
投資有価証券	14,271	12,135
長期貸付金	1,170	1,764
破産更生債権等	255	165
繰延税金資産	1,270	1,458
その他	2,268	4,701
貸倒引当金	△565	△622
投資その他の資産合計	18,670	19,603
固定資産合計	105,956	113,005
資産合計	195,946	214,682

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,381	24,169
短期借入金	7,652	13,403
未払費用	8,974	10,964
リース債務	505	442
未払法人税等	2,010	2,486
賞与引当金	714	464
返品調整引当金	86	101
ポイント引当金	560	534
その他	3,445	7,500
流動負債合計	42,331	60,067
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	45,472	43,088
利息返還損失引当金	726	697
リース債務	702	455
退職給付に係る負債	33	211
役員退職慰労引当金	258	258
資産除去債務	523	911
その他	2,840	2,125
固定負債合計	60,556	57,748
負債合計	102,888	117,815
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,607	10,612
資本剰余金	10,958	10,954
利益剰余金	71,809	77,650
自己株式	△0	△1
株主資本合計	93,374	99,215
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,295	367
為替換算調整勘定	△2,292	△3,368
退職給付に係る調整累計額	△33	△32
その他の包括利益累計額合計	△1,029	△3,033
非支配株主持分	713	684
純資産合計	93,058	96,866
負債純資産合計	195,946	214,682

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
売上高	121,997	133,555
売上原価	54,171	58,416
売上総利益	67,825	75,139
返品調整引当金繰延差額	11	14
差引売上総利益	67,813	75,125
販売費及び一般管理費	58,461	66,665
営業利益	9,352	8,460
営業外収益		
受取利息	151	98
受取配当金	351	265
為替差益	1,029	594
デリバティブ評価益	560	1,334
その他	566	875
営業外収益合計	2,659	3,167
営業外費用		
支払利息	107	123
減価償却費	83	71
支払手数料	61	30
店舗閉鎖損失	126	-
その他	102	93
営業外費用合計	481	319
経常利益	11,530	11,308
特別利益		
固定資産売却益	988	-
投資有価証券売却益	13	370
特別利益合計	1,002	370
特別損失		
固定資産除却損	33	116
有価証券評価損	90	-
投資有価証券評価損	381	285
為替換算調整勘定取崩損	20	-
特別損失合計	525	401
税金等調整前四半期純利益	12,007	11,276
法人税、住民税及び事業税	3,134	4,018
法人税等調整額	574	113
法人税等合計	3,708	4,131
四半期純利益	8,298	7,145
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△19	△32
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,318	7,177

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	8,298	7,145
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	666	△929
為替換算調整勘定	△91	△1,066
退職給付に係る調整額	△4	0
その他の包括利益合計	570	△1,995
四半期包括利益	8,869	5,149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,894	5,195
非支配株主に係る四半期包括利益	△24	△46

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	61,038	34,621	10,913	4,335	2,575	4,850	3,662	—	121,997
セグメント間の内部 売上高又は振替高	365	110	0	176	—	16	47	△717	—
計	61,404	34,732	10,913	4,511	2,575	4,867	3,710	△717	121,997
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	3,813	1,642	893	1,814	1,225	699	△534	△201	9,352

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳194百万円とのれん償却費△396百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	60,684	36,195	19,260	4,201	2,839	6,435	3,939	—	133,555
セグメント間の内部 売上高又は振替高	512	98	—	173	—	53	54	△893	—
計	61,196	36,294	19,260	4,375	2,839	6,489	3,993	△893	133,555
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	3,362	2,375	483	1,596	1,302	530	△659	△529	8,460

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳△118百万円とのれん償却費△411百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。